

新しいタイプの学校の検証及び充実について ～ 総合学科 ～

1. 検証の目的

本県では、平成9年に初めて城西高校に総合学科を設置し、平成15年に鳴門第一高校、及び新野高校を総合学科単独校に再編している。生徒の多様なニーズに対応できる魅力ある学科として導入された総合学科の教育活動等の検証を行い、今後の高校教育のあり方に活かすことを目的とする。

2. 検証の概要

(1) 視点

〔Ⅰ〕普通科及び専門学科（職業学科）と並ぶ第3の学科として設置された総合学科の教育制度が理解され、受け入れられているか。

〔Ⅱ〕総合学科の特色を活かした教育が展開されているか。

(2) 方法

生徒・教員を対象としたアンケートの結果、学校へのヒアリング等をもとに検証する。

3. 検証の結果

(1) 総合的な評価

教員、及び在校生ともに総合学科に対する評価は高く、高校選択肢の1つとして受け入れられている。

各校とも、専門学科の教科・科目を含め、生徒の興味・関心や進路希望等に対応した多様な教科・科目が開設できており、多くの生徒が、科目ガイダンスなどの学習を通して、将来の進路希望や自分の興味・関心などに合わせた科目を選択することができ、総合学科で学んでよかったと感じている。

また、進路状況を見ても、進学にも就職にも柔軟に対応できており、第3の学科としての役割を充分果たしている。

一方、総合学科を象徴する科目「産業社会と人間」の学習内容については、「自分の適性などについてはよく分からなかった」などの意見があり、一層の改善が求められている。また、総合学科は原則単位制となっているが、学期区分の認定科目の設置や、学校外の学修や技能審査の成果を単位認定するなど弾力的な単位認定制度が、まだ充分整備されておらず、今後、導入を進めれば、より多様な教育の展開が可能になると思われる。

今後、こうした検証結果を踏まえ、総合学科の教育を充実・発展させるとともに、広報活動にも積極的に取り組み、生徒や保護者への理解をさらに深めていく必要がある。

(2) 各視点からの評価

〔視点Ⅰ〕：普通科及び専門学科（職業学科）と並ぶ第３の学科として設置された総合学科の教育制度が理解され、受け入れられているか。

① 進学にも就職にも柔軟に対応し、生徒の多様な進路を支援する体制ができている。

進学を希望する場合は主に普通科，就職を希望する場合は主に職業学科への進学を考える生徒が多いが，進路が明確に定まってない生徒に対応できる学科として総合学科は期待されている。３校すべてが総合学科の卒業生を送り出した平成17年度及び18年度の進路状況は，下のデータに見られるように，普通科よりは就職者の割合が多く，職業学科よりは進学者の割合が多くなっており，ちょうど普通科と職業学科の中間的なところに位置することから，総合学科の役割を充分果たしていると考えられ，全国データでも同様の結果が出ている。〔P12-資料１〕 ５(1)〕

また，教員の82.1％が，「就職希望者にも進学希望者にも対応した教科・科目が選択できる」と思っている。そして，３年次生の74.3％が，「進学にも就職にも柔軟に対応できていると思いますか」の問いに，「思う」「まあ思う」と回答するなど，多くの生徒は現状の指導体制に満足しており，実際，３校の進路先決定者の割合の平均は93.3％と，生徒の多様な進路を支援する体制ができていると思われる。

〔P17-資料２〕 問１(7)，P25-資料２〕 問１ 〇(2)〕

【データ】 本県の平成17年度及び18年度卒業生の進路状況（2年間の平均値）

- ・〔普通科〕 進学：83.0％， 就職： 7.9％
- ・〔職業学科〕 進学：43.0％， 就職：52.0％
- ・〔総合学科〕 進学：53.2％， 就職：40.1％

（注）学校基本調査の集計結果を基に算出

② 総合学科の教育制度は，中学生には充分理解されておらず，より積極的な情報発信と分かりやすい広報が求められている。

１年次生に，「総合学科への進学をどの時期に決めたか」を尋ねたところ，63.7％が中学３年生の夏休み以降と回答している。また中学時に各校の体験入学に参加した生徒の94.3％が「体験内容はよかった」と非常に高い評価をしていることから，夏休みに実施された体験入学への参加が進路決定の大きなきっかけになっていると考えられる。しかしながら，入学した生徒の41.2％は体験入学に参加していない。また，各校のホームページにアクセスした生徒も約６割と少ない上，内容が理解できなかったとする生徒もいる。こうしたことから，多くの中学生に体験入学に参加してもらえるような情報発信や，中学生に分かりやすいホームページの作成など，広報のあり方に工夫と改善が求められている。〔P19-資料２〕 問４(1)，P20-資料２〕 問５〕

〔視点Ⅱ〕：総合学科の特色を活かした教育が展開されているか。

③ 各校では、生徒の興味・関心や進路希望等に対応する多様な教科・科目が開設されており、総合学科の教育は、教員や在校生からは高い評価を得ている。

学校間に若干の差異はあるが、教員、在校生ともに、総合学科の教育に対する評価は高い。教員に対する「総合学科は、生徒にとってよい制度と思いますか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答したのは73.4%となっており、総合学科の教育制度に対する評価は高く、総合学科の特色を活かした教育ができていると感じている。よかった点として、「多様な科目の開設により、生徒一人一人の興味・関心や個性に応じた教育が展開できる」、「科目『産業社会と人間』を通して、自分の将来を身近な問題としてとらえ、自分に必要な科目を選択できる」、「以前と比べ、生徒が何事にも意欲と責任を持って取り組むようになった」などの意見を挙げている。また、各校の開設科目数には違いがあるが、教員の82.3%が「生徒の興味・関心、将来の進路希望等に対応するため、多様な教科・科目を開設していますか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答しており、各校とも生徒のニーズに応じた多様な科目が開設できていると考えている。そして教員は、総合学科の教育の中で最も重視しなければならないこととして、「多様な教科・科目の開設」を挙げている。

〔P18-資料2 問3, P16-資料2 問1(3), P18-資料2 問2〕

次に、3年次生の76.6%が「3年間、総合学科で学んでよかったと思う」と回答している。その理由として挙げたのは、「自分の興味・関心などに合わせた科目が選択できたから」、「進学にも就職にも対応できるから」であり、総合学科の特色を活かした教育を高く評価している。そして「総合学科での3年間の学習を、頑張ることができましたか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答したのは76.3%、中には80%を超える学校もあるなど、総合学科の教育内容に満足している。また、1年次生で総合学科を志望した理由として最も多かったのは、「自分の興味・関心に応じた科目選択が可能であるから」となっており、開設科目に満足していると考えられる。

〔P22-資料2 問7, P25-資料2 問1 1, P19-資料2 問4(2)〕

④ 生徒は、各種の科目選択ガイダンスを高く評価し、適切な科目選択ができている。

各校では、総合学科の特色が活かせるよう、1年次に実施する科目選択ガイダンスには、特に力を入れている。入念な計画のもと組織的に取り組んでおり、生徒の満足度も高い。個々の評価では、学年集会でのガイダンスで科目選択の意義や手順が理解できたとする生徒が70.4%、クラスでのガイダンスで科目選択の注意点が理解できたとする生徒が74.1%、個人ガイダンスで円滑な科目選択ができたとする生徒が70.3%となっている。それに比べて、科目選択時にシラバスを活用できたとする生徒は56.4%と低く、生徒の中には、「科目選択の前に授業体験をしたい」など意欲の高い生徒もいる。今後は、理解しやすいシラバスとなるように内容を工夫・改善するとともに、その活用方法についても指導することが必要である。

〔P11-資料1 3, P21-資料2 問6〕

また、科目選択の状況について、3年次生の80.7%が、「自分の興味・関心などに応じて適切に科目を選択することができたと思いますか」の質問に対して、「思う」「まあ思う」と回答している。そして、「自分の進路の希望などに応じて適切に科目を選択することができたと思いますか」の質問に対しても、70.8%が「思う」「まあ思う」と回答しており、生徒の多くは、友だち関係や単位取得が容易などの安易な理由で科目を決定するのではなく、本来の、興味・関心や将来の進路を基準として科目選択を行っている。今後、すべての生徒がそうした適切な科目選択ができるようにしていくことが大切であり、より一層のきめ細かい指導を行う必要がある。

〔P24-資料2 問9〕

⑤ 進路指導の一層の充実を図るため、科目「産業社会と人間」の学習内容や指導方法、及び系列の目的に沿った科目履修となるよう指導に工夫が求められている。

科目「産業社会と人間」について、「学習内容は、あなたにとってよかったと思いますか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答した3年次生は58.5%であり、総合学科の象徴的な科目として導入されただけに、厳しい評価といえる。また、科目の目標ともいえる「自己の在り方・生き方についてじっくりと考えさせることができたか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答した教員が74.7%であったのに対し、同じ質問に3年次生で「思う」「まあ思う」と回答したのは61.3%と、生徒の受け止め方は厳しい。この科目の学習で、生徒が満足しなかった理由として最も多かったのが、「自分の適性などについてはよく分からなかった」であり、教員には授業の事前準備や検討の時間が充分でなかったとの反省もあることから、指導内容、及び指導方法の見直し改善が必要と思われる。〔P23-資料2 問8, P15-資料2 問1(1),

P25-資料2 問10(1), P24-資料2 問8(3)〕

次に、系列（専門的な教育分野ごとに関連する科目をまとめたもので、科目選択をする際の目安となるもの）の履修状況と、系列と進路との関連を見るために、各学校

4. 各校の充実策

これまでの検証結果を踏まえ、各校の総合学科が一層の魅力ある学科となるように、各校の充実策についてまとめた。

【城西高校】

- (1) 「産業社会と人間」の指導の工夫と改善
 - 「自分史作成」, 「講演」, 「系列体験」などの内容・計画の見直し
 - 長期休業中のボランティア活動の勧奨, 及び斡旋
- (2) 進路指導の充実
 - 生徒一人一人の「進路カルテ」を作成し, 個々に対応するシステムの構築
 - 礼儀作法, 服装など基本的生活習慣の定着や身だしなみ指導の徹底
- (3) 科目ガイダンス充実
 - [科目ガイダンスの充実] = 「産業社会と人間」の充実であることから, 「産業社会と人間」の内容・計画の工夫
 - 「シラバス」をより読みやすく, より理解しやすいものに変更
 - 全教職員が, 科目選択ガイダンスできる力量を持てるよう校内研修の実施
- (4) 地域連携や教育改革の諸制度(学校間連携, 技能審査・学校外学修の単位認定等)
 - 大学・専門学校や福祉施設からの外部講師の招聘(訪問介護員2級資格取得)
 - 保育所・障害者施設・高齢者施設等でのボランティア活動の推進
 - 地域開放講座(「情報」など)の実施
 - 大学の出張講義の利用の促進
- (5) 総合学科の認知度を高める工夫
 - 学校行事等の新聞広告掲載
 - 事業所の人事担当者や上級学校の広報担当者への個別説明の実施
- (6) 入試改善(入学者選抜の工夫)
 - 課題作文の導入〔H20年度〕

【鳴門第一高校】

- (1) 科目「産業社会と人間」の指導の工夫と改善
 - 科目ガイダンス, 進路ガイダンスの一層の充実と, 各自の「時間割」への反映
 - 「社会人講話」導入による学習活動の充実
 - ・様々な分野で活躍する社会人講師による講話で, 人の生き方や在り方について考えさせる
 - ・社会人講師には, 地域の方々や卒業生を招いて実施するなど学校の特色を活かす
 - インターンシップの充実を図ることで, 正しい勤労観・職業観の確立
 - ・生徒のニーズの把握と事業所の開拓に努め, 連携を密にし効果的に実施する
 - 「産業社会と人間」の発表会を充実させ, 「聞く力」「調べる力」「まとめる力」「発表する力」を養成
- (2) 進路指導の充実
 - 3年間を見据えた進路別ガイダンス(職業理解, 学問理解, 学校・企業理解など)の実施
 - 早期の履歴書, 面接指導(外部講師招聘を含む)の実施

- オープンキャンパスや校外進路説明会、及び医療・福祉系体験等の勧奨
- 職業適性検査、進路希望調査の実施
- 個人面談の回数増と、全年次での「進路対策会議」の実施
- (3) 科目ガイダンスの充実
 - 魅力ある教育課程の編成
 - 進路選択や資格取得と関連づけての科目ガイダンスの実施
 - 授業体験、授業見学を通しての科目内容に対する興味や理解の深化
 - 生徒が科目選択に活用できるシラバス作成に向けての工夫と改善
- (4) 地域連携や教育改革の諸制度（学校間連携、技能審査、学校外学修の単位認定）
 - ＜地域連携＞
 - インターンシップの充実
 - 授業「社会福祉実習」において、高齢者福祉施設等での施設実習の実施
 - 市役所、社会福祉協議会等からの外部講師の招聘（訪問介護員２級資格取得）
 - 保育所、障害者施設、高齢者施設等でのボランティア活動の推進
 - 地域開放講座（「情報」・「福祉」など）の実施
 - ＜学校間連携＞
 - 地域の中学生を対象とした「地域説明会」の実施
 - 地元大学との連携による「プレゼンテーション力」や「ファシリテーター入門」講座の実施（総合的な学習の時間）
 - ＜学校外学修＞
 - 高齢者福祉施設でのボランティア活動を学校外学修として位置づけることを検討
- (5) 総合学科の認知度を高める工夫
 - 中学生体験入学の内容の工夫
 - ・総合学科の魅力をアピール、授業体験、先輩との交流など
 - PR広報誌などの発行による中学校への情報発信
 - ホームページの工夫・改善
 - 文化祭の公開による、近隣中学への広報
- (6) 入試改善（入学者選抜の工夫）
 - 適切な評価に向け、作文の「テーマ」、面接での「質問内容」、及び「採点基準」等の見直しと検討
 - 〔備考〕様々な分野に優れた生徒に目指してほしいことから、前期選抜入試では、生徒の個性を重視し、教科の試験は行わず、「作文」「面接」「自己表現」「調査書」による選抜を行っている。

【新野高校】

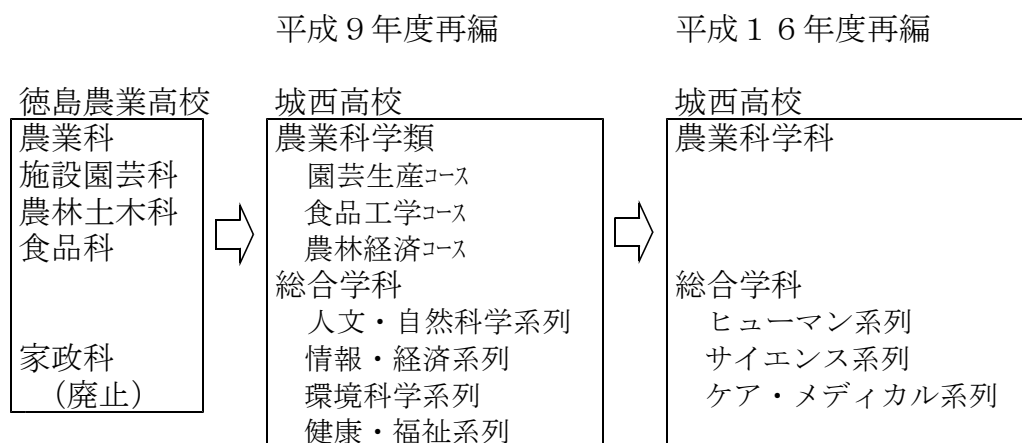
- (1) 科目「産業社会と人間」の指導の工夫と改善
 - 現在までの指導経過を踏まえ、シラバス（年間指導計画）の改善
 - 進路（大学、企業等）実現に必要な具体的な科目や資格に関する情報の整理
 - 総合学科間のネットワーク化により、「社会人講師」の情報共有と有効活用を図るシステムの構築

- (2) 進路指導の充実
 - 1年次の「産業社会と人間」に続く2年次以降の指導時間の確保
 - 1,2年次生：進路希望別体験学習会のさらなる充実・改善
 - 3年次生：進路課による全員進路面談の実施，校内進路別ガイダンスの充実
 - 保護者対象：進路講演会，進路説明会の充実・改善
 - 基礎学力向上を図るため，学力到達度診断テストの継続，事後指導の徹底
- (3) 科目ガイダンスの充実
 - 生徒一人一人に対する検討会・相談会の創設
 - 時間割担当アドバイザーの常設
 - 授業体験の増設
 - 各講座の使用教材（教科書，シラバス，写真，資料等）の校内展示による生徒への講座内容の周知と，指導者間での引き継ぎの徹底
- (4) 総合学科の認知度を高める工夫
 - サイトの内容を中学生の理解度に合わせ，写真や図を多く取り入れるなどの工夫
 - 学校情報誌「若竹通信」の充実と中学校への配布
 - 進学説明会における本校生徒との交流会の実施
- (5) 各系列の充実
 - ＜情報理数系列＞
 - 内容が重複する講座の整理・統合，実技に熟練させる指導
 - 実習機器の整備（サーバー，ルーター，LANケーブル，各種ソフトなど）
 - T・Tによる少人数講座が実施可能な教員体制の構築
 - 「テレビ会議システム」を利用した授業展開，大学・専門学校・企業との連携
 - ＜コミュニケーション人文系列＞
 - 資格取得の奨励・促進
 - 読書活動の推進・充実
 - 特徴のある科目における専門指導者の確保
 - ＜暮らしクリエイティブ系列＞
 - 資格に結びつく科目の設定
 - 科目内容や授業形態についてのガイダンスの徹底
 - 生徒の実態や進路に対応した科目の設定
 - 系列の特徴の明確化
- (6) その他
 - 女子生徒の希望に沿った選択科目の導入（「デザイン」・「商業」など）

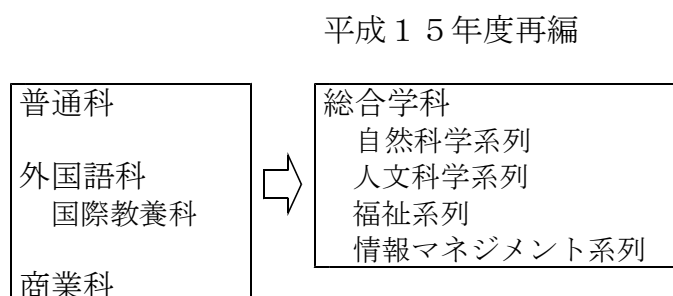
各高校の基本データ

1. 各高校の変遷

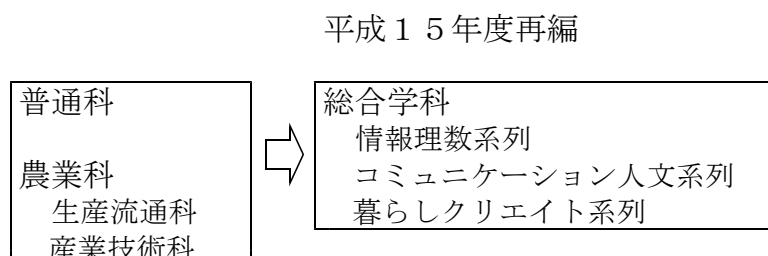
① 城西高校（総合学科，農業科学科の併設）



② 鳴門第一高校（総合学科単独校）



③ 新野高校（総合学科単独校）



2. 教育課程〔平成18年度〕

(1) 教育課程の状況

	城西高校	鳴門第一高校	新野高校
募集定員(H19)	1 2 0	1 3 5	8 5
系列の設置数	3	4	3
開講講座総数	2 3 4	2 3 6	2 0 6
開講科目総数 (設置科目総数)	9 7 (1 0 0)	7 6 (9 2)	9 6 (9 7)
学校設定科目数	2 9	1 2	1 9
社会人講師数	3	1	3
卒業認定単位数	7 4	7 4	7 4

少人数教育の ア) 展開基準	ア) どの学校においても、進路に必要である場合は、人数に関係なく開講するが、開講するか否かは各校の判断で決められている。		
イ) 実施講座数 (20人以下)	イ) 8 0 講座	イ) 1 0 1 講座	イ) 1 1 4 講座
学期区分の 認定科目	実施していない	実施していない	卒業についてのみ 半期を認めている
学年の枠を 超えた授業	2・3年次生対象の 自由選択科目で実施	実施していない	2・3年次生対象の 自由選択科目で実施

(2) 科目「産業社会と人間」

	城西高校	鳴門第一高校	新野高校
教育課程の位置 付けと単位数	・通年（1年次） ・2単位	・通年（1年次） ・2単位	・通年（1年次） ・2単位
1クラス当たりの 教員の指導体制	正副担任2名で担当 内容によっては3名	正副担任2名で担当 内容によっては3名	正副担任2名で担当 内容によっては3名
学習活動の 主な内容	・進路ガイダンス ・テーマ学習 ・上級学校見学 ・系列体験 ・時間割作成 ・感想文発表会	・履修ガイダンス ・進路ガイダンス ・社会人講話 ・インターンシップ ・「産業社会と人間」 の発表会	・ライフプラン ・インターンシップ ・私の仕事館 ・社会人講演会 ・時間割作成 ・「産業社会と人間」 の発表会
地域連携の実施状 況（インターンシップ等）	実施していない	・インターンシップ	・インターンシップ ・地域の人の講演

(3) 諸制度の活用状況

	城西高校	鳴門第一高校	新野高校
学校間連携の 実施状況	福祉関連授業 (徳島健祥会福祉専門 学校、四国大学)	福祉関連授業 (鳴門市介護保健課、 鳴門市社会福祉協議会)	実施していない
技能審査・学校外 学修の単位認定	実施していない	実施していない	実施していない
公開講座の 実施状況	実施していない	地域開放講座 (情報、福祉、英語)	実施していない

3. 科目選択ガイダンス

城 西 高 校	〔1年次〕「産業社会と人間」を中心に展開する。 ・（4月）自己理解， ・（5～6月）進路・職業研究， ・（7～9月）系列体験， ・（10月）上級学校見学， ・（11月）科目登録 〔備考1〕保護者に対しては5月の「総合学科説明会」において，系列説明や履修方法について説明を行い，7月と11月に三者面談を行う。 〔備考2〕科目登録票の作成には計10時間以上を割り当て，一人の教師の目で見えるのではなく，複数の教師がアドバイスし，チェックを行う。11月末に教務課長や進学課長，総合学科長を含めて「科目選択検討会」を実施し，生徒一人ひとりの履修を確認し，科目登録票を完成する。 〔2年次〕三者面談や個別面談で進路希望を更に明確にし，進路希望が変更になった場合にのみ履修の変更を認める。そのときも複数の教師（教務課長や総合学科長，学年主任）が認めた上で，変更を認める。
鳴 門 第 一 高 校	〔1年次〕「産業社会人間」で，社会人講話，進路適性検査，進路体験学習，インターンシップなどを通して，自分の将来の進路や人としての在り方・生き方を深く見つめる学習を行っている。 ・（5～6月）本校の系列や資格取得や進路実現に向けて必要な科目についてのガイダンスを1年次生全体に実施し，2，3年次以降の自分の時間割プランを作成できるよう個別指導を行っている。 ・（7月）履修予備登録表を提出させ，教務課が取りまとめた資料をもとに履修検討会議（管理職，教務課長，進学課長，就職課長，総合学科長，1年次主任と正副担任で構成）を開き，一人ひとりの時間割について進路実現に向けてよりよいものとなるよう協議を行っている。履修検討会議での意見も参考に，夏休みの三者面談で話し合い，時間割プランの見直し手直しを行う。 ・（11月）履修最終登録表を提出させる。担任を中心に，個別に面談を行い，進路目標を明確に持たせる指導を丁寧に行っている。 ・（12月）2回目の履修検討会議を開き，最終チェックを複数教員で行い，本登録となり2年次の時間割が決定する。 〔2年次〕 ・（5月）「総合的な学習の時間」に進路ガイダンスや3年次に向けての履修ガイダンスを2年次生全体に実施し，もう一度3年次の時間割プランの見直しを行う。 ・（7月）仮登録表を提出する。1年次の時と同様，履修検討会議で出された意見を踏まえて三者面談や，随時個別面談を行う。 ・（11月）最終登録表を提出させる。 ・（12月）履修検討会議で最終チェックを行い，3年次の時間割が決定する。
新 野 高 校	〔1年次〕「産業社会と人間」で自己理解，将来の進路，職業等の研究を通して，自分が必要とする科目が何であるかを考えさせる。 ・（5月）1年次の選択科目(2単位)の説明にあわせて，各教科主任等から選択科目ガイド(冊子)を中心にガイダンスを行う。 ・（6月）3年次までを見通した科目を仮登録できるように，学年主任，HR担任等で面談を行い決定する。 ・（7月）夏の三者面談において生徒，保護者ともに納得できる科目選択となるように調整する。 ・（9～10月）授業体験やインターンシップを行う。 ・（11月）HR担任との個別面談を実施する。学年主任，各教科主任等とのガイダンスにより生徒各人の進路希望に適した科目選択となっているかを確認し，保護者の了解を得て，最終決定する。 〔2年次〕希望進路に変更がないかHR担任と相談の上，適宜HR活動等を通して見直しを行う。微調整は可能であり，保護者の了解を得て1年次同様11月末までに最終決定を行う。

4. 入学者選抜の実施状況

(1) 志願倍率の推移

	H16	H17	H18	H19
城西高校	1.97	1.58	2.37	2.00
鳴門第一高校	2.27	2.31	1.86	2.09
新野高校	1.58	1.28	2.02	1.60

【留意】数値は、前期選抜の倍率を表示

(2) 入学者選抜〔平成20年度入試〕

城西高校	鳴門第一高校	新野高校
前期選抜募集割合50% ・〔要件ア〕35% 基礎学力問題, 作文, 調査書, 面接 ・〔要件イ〕15% 基礎学力問題, 作文, 調査書, 自己表現, 活動の記録	前期選抜募集割合50% ・〔要件ア〕35% 調査書(5教科評定), 作文, 面接, 自己表現 ・〔要件イ〕15% 調査書(5教科評定), 作文, 面接, 自己表現, 活動の記録	前期選抜募集割合50% ・〔要件ア〕35% 5教科より2教科選択, 作文, 調査書, 面接 ・〔要件イ〕15% 5教科より2教科選択, 作文, 調査書, 自己表現, 活動の記録

5. 卒業生の進路状況

(1) 卒業生の進路概況〔平成17～18年度〕

城西高校(総合学科のみ)	鳴門第一高校	新野高校
・進学 … 61.3% ・就職 … 36.3% ・その他 … 2.4%	・進学 … 50.6% ・就職 … 46.9% ・その他 … 2.5%	・進学 … 49.3% ・就職 … 37.7% ・その他 … 13.0%

(2) 系列と進路との関連

【留意点】

① 1週間の授業時数の総枠に上限がある上、各系列に属する科目数や各科目の単位数も異なる中での調査となっている。

② この項目は、各校の各系列が、上手く機能しているか、そして進路実現にどの程度活かされているかを調査するものであり、各系列間での比較や学校間の比較をするためのものではない。

【表の見方】

① () 内の数値は、各系列の科目を7割以上履修した者の人数を表す。

② 各系列の科目群に属する科目名については、
＜各校の各系列の科目群一覧表＞の各校の欄を参照。

〔平成18年度卒業生〕

各系列の卒業生		人 数		主 な 進 路 先
城西高校 卒業生徒数 〔121〕	ヒューマン (56)	進学 (37)	就職 (17)	梅花女子大(文化表現), 福岡大(スポーツ科学), 愛知学院大(文), 立命館アジア太平洋大(マネジメント), 関西国際大(教育) 等
	サイエンス (21)	進学 (10)	就職 (9)	徳島大(工), 広島工業大(工), 高知工科大(工), 大阪電気通信大(工, 情報通信工) 等
	ケア・メディカル (44)	進学 (25)	就職 (18)	順心会看護医療大(看護), 四国大(管栄), 健康保険鳴門看護専門, 東徳島病院附属看護専門, 県内福祉施設への就職 等
鳴門第一高校 卒業生徒数 〔167〕	自然科学 (7)	進学 (7)	就職 (0)	徳島大(工), 徳島文理大(薬), 日本大(生物資源), 徳島医療福祉専門学校, 徳島健祥会福祉専門学校 等
	人文科学 (19)	進学 (13)	就職 (6)	島根大(法文), 四国大(文, 生活科学, 経営情報), 神戸女子短大, 健康保険鳴門看護専門, 大塚製薬, (株)泉製作所 等
	福祉 (8)	進学 (2)	就職 (6)	四国短大(生活福祉), 徳島県立看護学院, グループホームはるかぜ, 吉野川壮, 芳川病院, 木下病院, 平成博愛会 等
	情報マネジメント (20)	進学 (6)	就職 (14)	四国大(経営情報), 四国短大(ビジネスコミュニケーション), 徳島銀行, 日亜化学, J R 西日本, J R 四国, 日野自動車 等
新野高校 卒業生徒数 〔100〕	情報数理 (8)	進学 (5)	就職 (3)	近畿大(工), 高知工科大(工), 四国大(経営情報), 日亜化学工業, リード 等
	コミュニケーション人文 (16)	進学 (15)	就職 (1)	愛媛大(法文), 高知大(人文), 四国大(文), 花園大(文), 自衛隊 等
	暮らしクリエイト (3)	進学 (3)	就職 (0)	徳島県農業大学校, 阿南テクノスクール

<各校の各系列の科目群一覧表>

<城西高校>

総 合 選 択 科 目		
ヒューマン系列	サイエンス系列	ケア・メディカル系列
基 礎 と な る 科 目		
「英語Ⅱ」	「数学Ⅱ」, 「情報産業と社会」	「数学Ⅱ」, 「社会福祉基礎」
基 礎 以 外 の 科 目		
「国語表現Ⅰ」, 「国語演習」, 「古典」, 「世界史演習」, 「日本史B」, 「日本史演習」, 「地理B」, 「地理演習」, 「現代社会演習」, 「政治・経済」, 「倫理」, 「アンサンブル」, 「音楽療法」, 「ハーモニー」, 「ビジュアルデザイン」, 「イラスト」, 「映像メディア表現」, 「基礎デッサン」, 「硬筆を楽しむ」, 「毛筆を楽しむ」, 「生活の書」, 「オーラルコミュニケーションⅠ」, 「ライティング」, 「リーディング」, 「英語演習」, 「スポーツⅠ」, 「スポーツⅡ」, 「生涯スポーツ」, 「健康フォーラム」, 「児童文化」, 「フードデザイン」, 「簿記」, 「ビジネス情報」, 「情報処理」, 「文書デザイン」, 「環境科学基礎」, 「生活英語」, 「異文化理解」	「国語表現Ⅰ」, 「国語演習」, 「数学基礎」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学B」, 「数学C」, 「数学演習1・2」, 「応用数学1・2」, 「基礎数学」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「物理Ⅱ」, 「化学Ⅱ」, 「生物Ⅱ」, 「物理演習」, 「化学演習」, 「生物演習」, 「英語Ⅱ」, 「リーディング」, 「ライティング」, 「情報と表現」, 「コンピュータデザイン」, 「情報実習」, 「情報システムの開発」, 「英語演習」, 「時事英語」	「数学B」, 「数学演習1」, 「応用数学Ⅰ」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「リーディング」, 「看護基礎医学」, 「社会福祉基礎」, 「社会福祉制度」, 「社会福祉援助技術」, 「基礎介護」, 「社会福祉実習」, 「社会福祉演習」, 「音楽療法」

※上記以外に、自由選択科目(21科目)を設けている。

<鳴門第一高校>

総合選択科目			
自然科学系列	人文科学系列	福祉系列	情報マネジメント系列
基礎と基礎となる科目			
「数学Ⅱ」,「数学B」, 「数学演習」,「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」,「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	「国語表現Ⅰ」,「国語表現Ⅱ」, 「日本史A」,「地理A」, 「日本史B」,「世界史B」, 「地理B」,「音楽Ⅱ」, 「美術Ⅱ」,「書道Ⅱ」, 「スポーツⅡ」, 「スポーツⅢ」,「英語Ⅱ」, 「オーラルコミュニケーションⅠ」, 「総合英語（基礎文法）」, 「総合英語（基礎構文）」	「社会福祉基礎」,「社会福祉実習」, 「基礎介護」,「社会福祉制度」, 「看護基礎医学」,「社会福祉演習」, 「社会福祉援助技術」	「ビジネス基礎」,「商品と流通」, 「簿記」,「簿記会計」, 「簿記演習Ⅰ」,「原価計算」, 「情報処理」,「音楽療法」, 「プログラミング」, 「商業技術」
基礎以外の科目			
「数学Ⅲ」,「数学C」,「数学演習（国立理系）」, 「物理Ⅰ演習」,「化学Ⅰ演習」, 「生物Ⅰ演習」,「地学Ⅰ演習」, 「物理Ⅱ」,「化学Ⅱ」, 「生物Ⅱ」,「地学Ⅱ」	「基礎現代文演習」,「応用現代文演習」, 「古典」,「演習日本史A」, 「演習世界史A」, 「演習地理A」, 「倫理」,「政治・経済」, 「よくわかる政治・経済」, 「数学演習（国立文系）」, 「数学演習（私立文系）」, 「数学ゼミ」,「数学演習（就職対策）」, 「ライティング」, 「リーディング」, 「生活英語」, 「時事英語」,「SPI理科」	「フットデザイン」,「発育と保育」, 「家庭看護・福祉」	「簿記演習Ⅱ」,「マーケティング」, 「簿記中級」,「プログラミング演習」, 「経済活動と法」, 「ビジネス情報」,「ビジネス実習」, 「応用情報処理」

※上記以外に、自由選択科目（15科目）を設けている。

<新野高校>

総合選択科目		
情報／数理系列	コミュニケーション／人文系列	暮らしクリエイト系列
基礎と基礎となる科目		
「数学Ⅱ」,「物理Ⅰ」, 「マルチメディア表現」, 「ネットワークⅠ」, 「図形と画像の処理」, 「アルゴリズム」	「国語表現Ⅰ」,「地理A」, 「政治・経済」,「英語Ⅱ」, 「オーラルコミュニケーションⅠ」, 「中国語入門」 「新聞読解講座」,「外国事情」	「国語表現Ⅰ」,「生物Ⅰ」, 「野菜」, 「バイオテクノロジーⅠ」, 「生物活用Ⅰ」, 「環境科学基礎」
基礎以外の科目		
「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」, 「数学C」,「化学Ⅰ」,「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」,「物理Ⅱ」,「化学Ⅱ」, 「生物Ⅱ」,「地学Ⅱ」, 「モデル化とシミュレーション」, 「ネットワークⅡ」, 「コンピュータデザイン」, 「情報と表現」, 「ネットワークシステム」	「現代文」,「古典」,「地理B」, 「日本史A」,「日本史B」, 「世界史B」,「倫理」, 「リーディング」, 「ライティング」, 「郷土研究史」, 「地域経済入門」, 「アジア探究」, 「Enjoy English」, 「手話入門」, 「短詩型の世界」	「生物Ⅱ」,「オーラルコミュニケーションⅠ」, 「果樹」,「バイオテクノロジーⅡ」, 「ガーデニング」, 「生活活用Ⅱ」, 「ハローアグリカルチャー」, 「森林科学」, 「グリーンボランティア」, 「ボランティア基礎」, 「食品製造」, 「測量」, 「フラワーデザイン」, 「メイキングファーム」

※上記以外に、自由選択科目（38科目）を設けている。

アンケート調査の結果

○調査対象及び調査時期

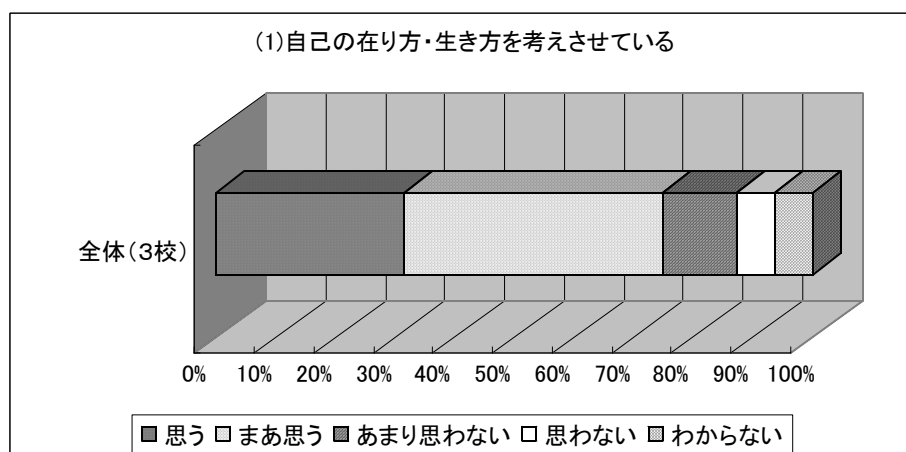
	教職員	1 年次生	3 年次生
城西高校	2 9	1 1 2	1 0 8
鳴門第一高校	4 2	1 4 0	1 5 8
新野高校	2 4	7 7	8 7
調査時期	H18.10	H18.10	H18.12

〔教職員対象〕

問 1. あなたの学校の取組についてお尋ねします。あなたは、次の事項についてそれぞれどのように思いますか。あてはまるものの番号を 1 つだけ選んで○で囲んでください。

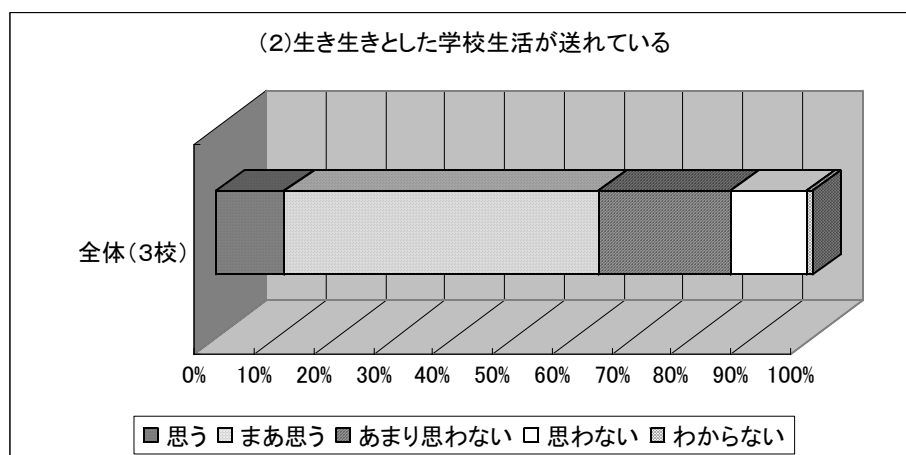
1 そう思う 2 まあそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない 5 わからない

(1) 生徒に「産業社会と人間」の学習を通して、自己の在り方・生き方についてじっくりと考えさせている。



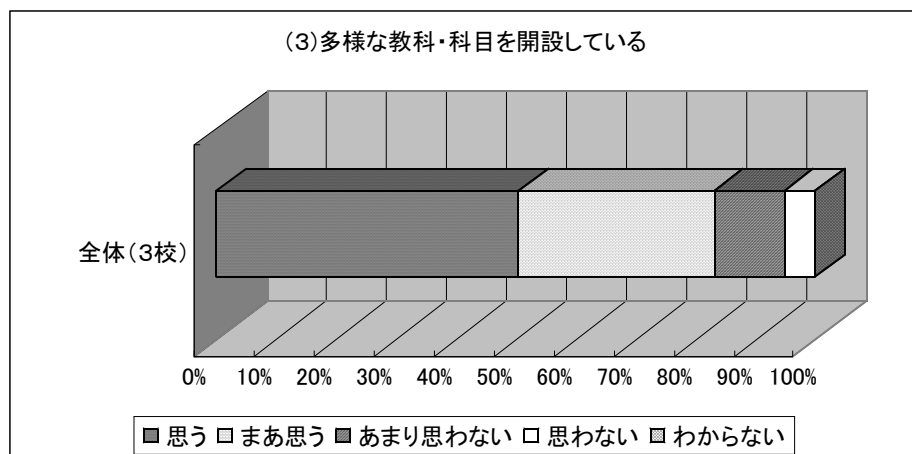
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 74.7 %

(2) 個性を生かした主体的な学習が行われており、生徒は学ぶことの楽しさや成就感を体験し、いきいきとした学校生活を送れている。



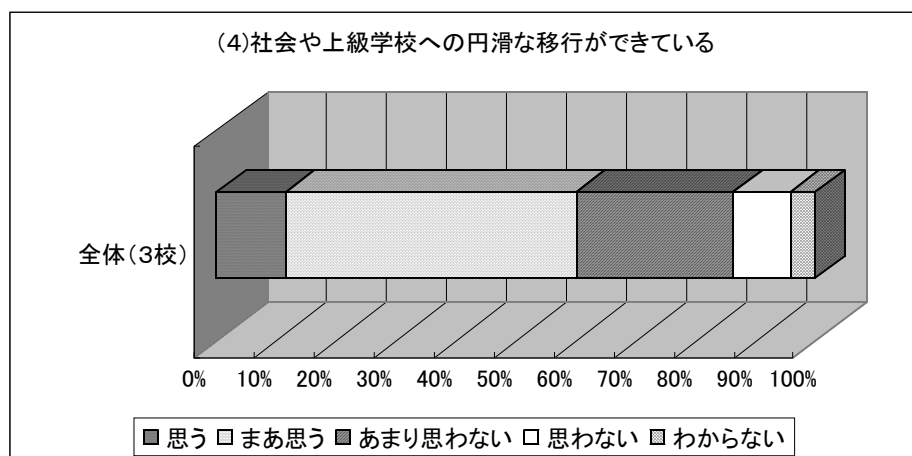
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 64.2 %

(3) 生徒の興味・関心, 将来の進路希望等に対応するため, 多様な教科・科目を開設している。



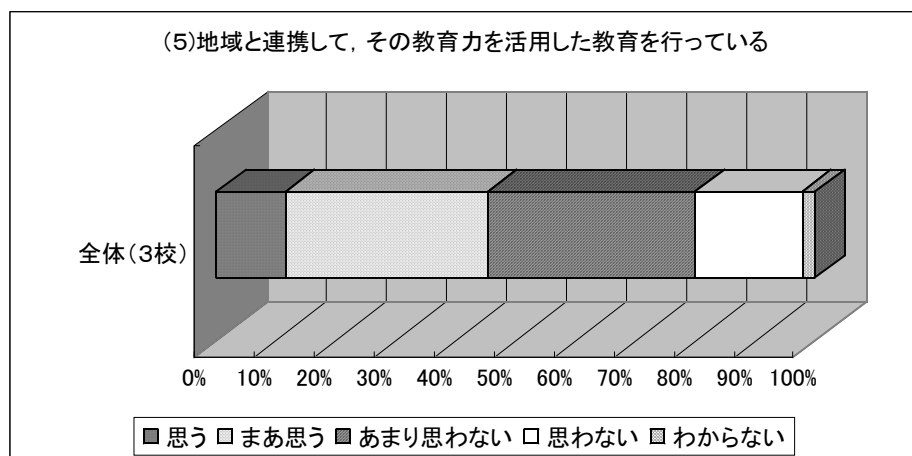
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 82.3 %

(4) 自立的な学習や勤労観・職業観の育成を通して, 生徒の, 高校から社会及び上級学校への円滑な移行ができています。



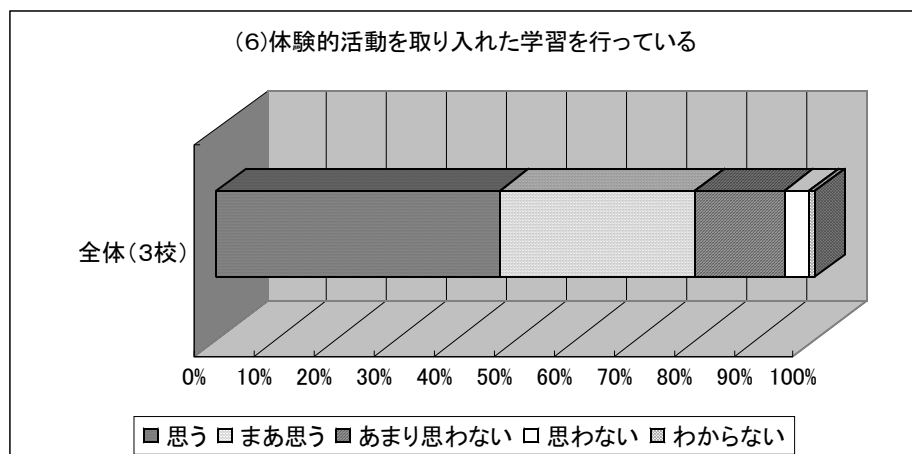
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 60.0 %

(5) 地域と連携して, その教育力を活用した教育を行っている。



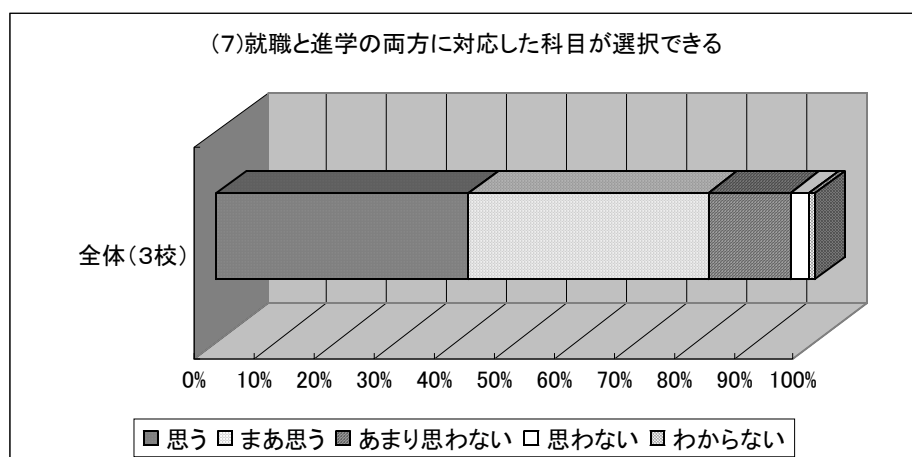
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 45.3 %

(6) 自然体験や社会体験（職場体験等）などの体験的な学習を行っている。



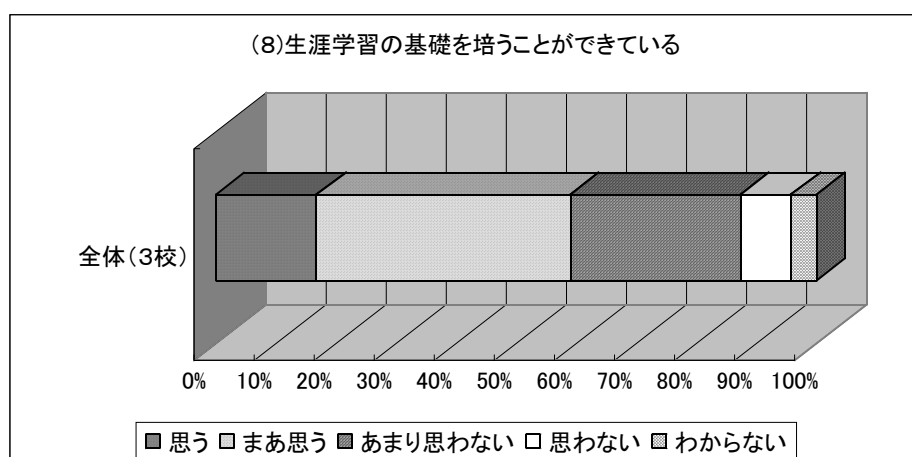
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 80.0 %

(7) 就職希望者にも進学希望者にも対応した教科・科目が選択できる。



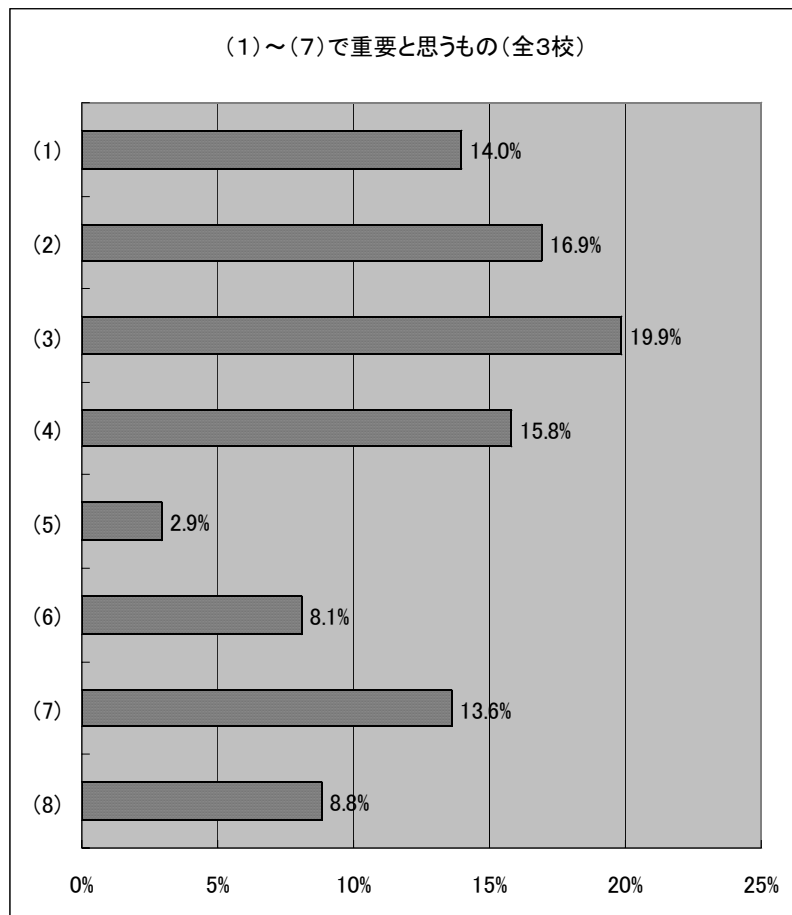
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 82.1 %

(8) 主体的な科目履修を通して生涯学習の基礎を培っている。



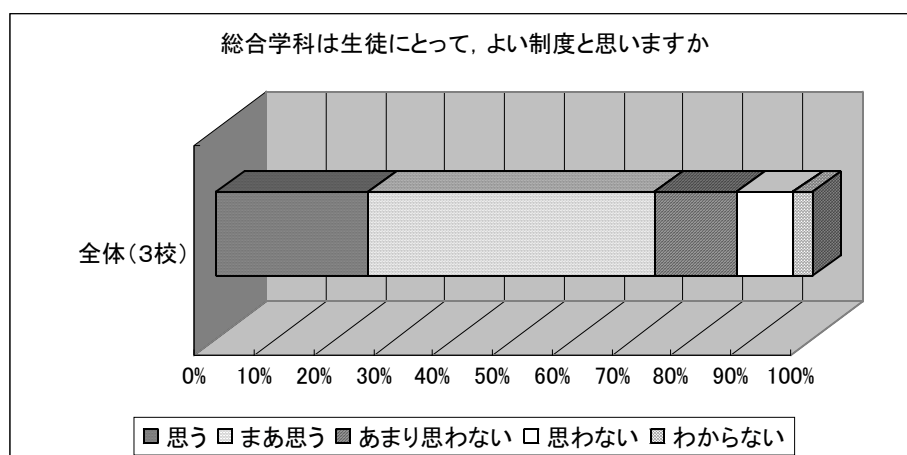
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 58.9 %

問 2. 次の(1)～(8) (問 1 の項目) のうち、総合学科に勤務しているあなたにとって重要であると思われるものを3つ以内で選んでください。



- (1) 生徒に「産業社会と人間」の学習を通して、自己の在り方・生き方についてじっくりと考えさせている。
- (2) 個性を生かした主体的な学習が行われており、生徒は学ぶことの楽しさや成就感を体験し、いきいきとした学校生活を送れている。
- (3) 生徒の興味・関心、将来の進路希望等に対応するため多様な教科・科目を開設している。
- (4) 自立的な学習や勤労観・職業観の育成を通して、生徒の、高校から社会及び上級学校への円滑な移行ができています。
- (5) 地域と連携して、その教育力を活用した教育を行っている。
- (6) 自然体験や社会体験（職場体験等）などの体験的な学習を行っている。
- (7) 就職希望者にも進学希望者にも対応した教科・科目が選択できる。
- (8) 主体的な科目履修を通して生涯学習の基礎を培っている。

問 3. 総合学科は、生徒にとってよい制度だと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値
〔全 体〕 73.4 %

問4. 総合学科の志望について

総合学科への進学を決めた時期（全体）

進学を決めた時期	割合
中3の冬休み以降	28.7%
中3の冬休み	14.5%
中3の夏休み後～冬休み前	20.5%
中3の夏休み	11.8%
中3の4月～夏休み前	9.1%
中2の時	11.8%
中1以前	3.6%

総合学科を志望した理由

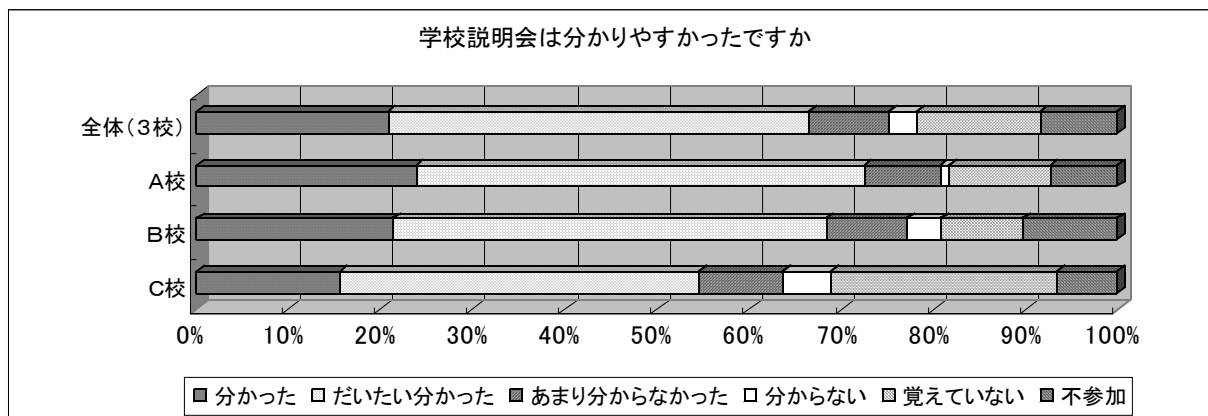
This horizontal bar chart displays the reasons for wanting a comprehensive discipline, categorized by school (A校, B校, C校) and the total (全体). The x-axis represents the percentage of students, ranging from 0% to 35% in 5% increments. The y-axis lists the schools. For each school, there are ten bars representing different reasons, numbered 1 through 10 in the legend. The bars are styled with various patterns and shades of gray to distinguish them. The '全体' category shows the highest percentage for reason 1 (solid dark gray, ~29%), while 'A校' and 'B校' show higher percentages for reason 2 (solid medium gray, ~31% and ~29% respectively). 'C校' shows a higher percentage for reason 10 (white with black border, ~17%) compared to the other schools.

学校	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
全体(3校)	29%	16%	11%	12%	7%	5%	2%	12%	6%	3%
A校	31%	14%	11%	12%	7%	5%	3%	12%	7%	3%
B校	29%	18%	11%	11%	5%	5%	3%	9%	6%	3%
C校	26%	15%	14%	13%	4%	5%	2%	17%	5%	3%

- 19 -

問5 学校の理解について

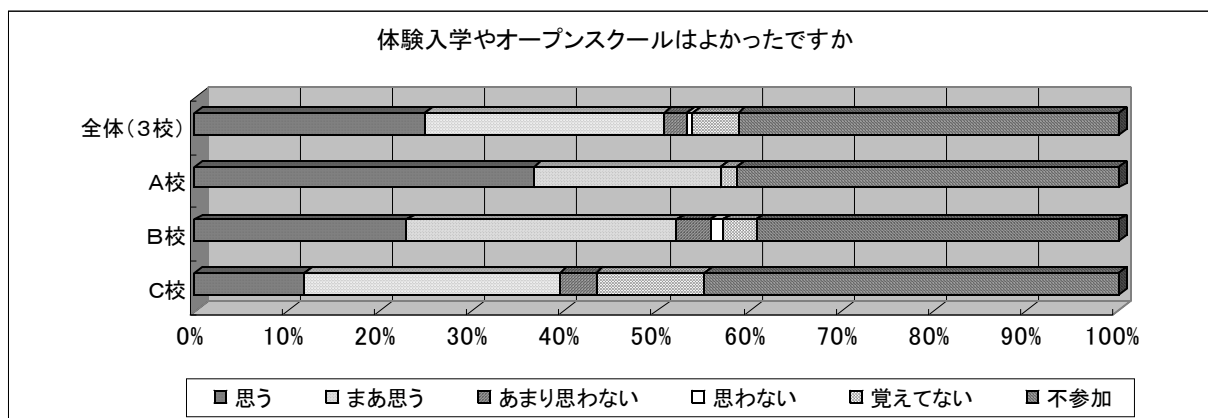
(1) 説明会などで、高校の先生から本校についての説明は、分かりやすかったですか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

〔全 体〕 66.5 %， 〔A校〕 72.5 %， 〔B校〕 68.4 %， 〔C校〕 54.5 %

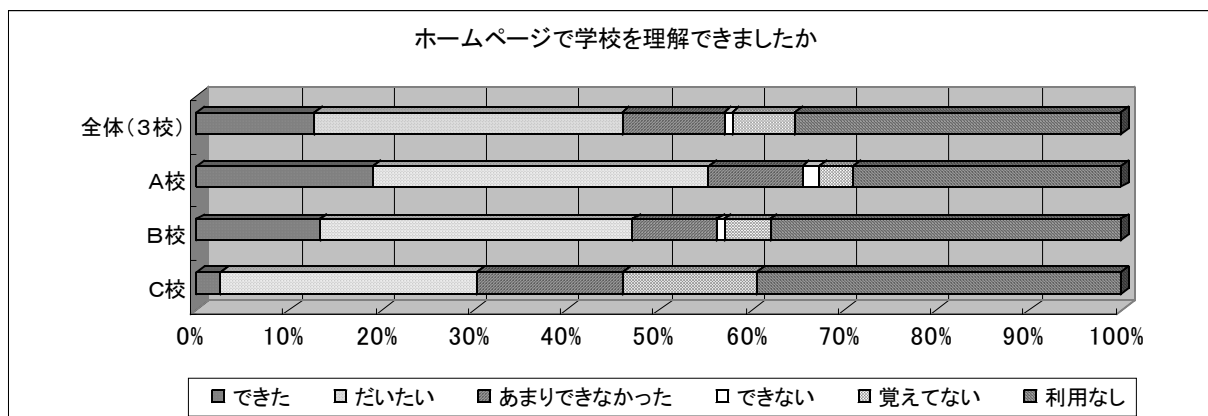
(2) 体験入学やオープンスクールは、よかったと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

〔全 体〕 50.8 %， 〔A校〕 56.9 %， 〔B校〕 52.1 %， 〔C校〕 39.5 %

(3) 高校を選ぶときに、本校のホームページを利用し本校について理解できましたか。

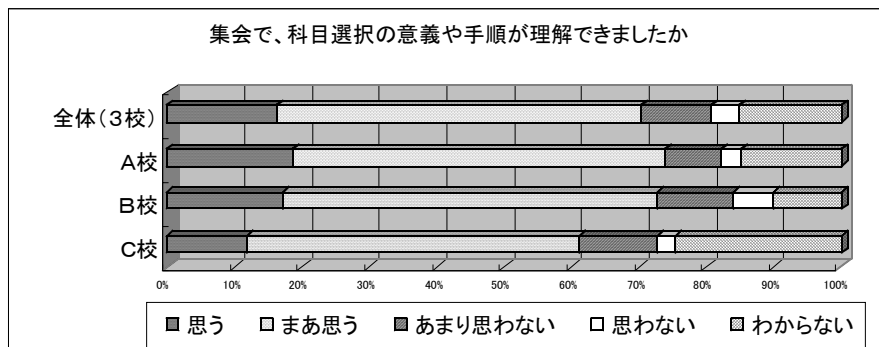


「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

〔全 体〕 46.0 %， 〔A校〕 55.5 %， 〔B校〕 47.2 %， 〔C校〕 30.3 %

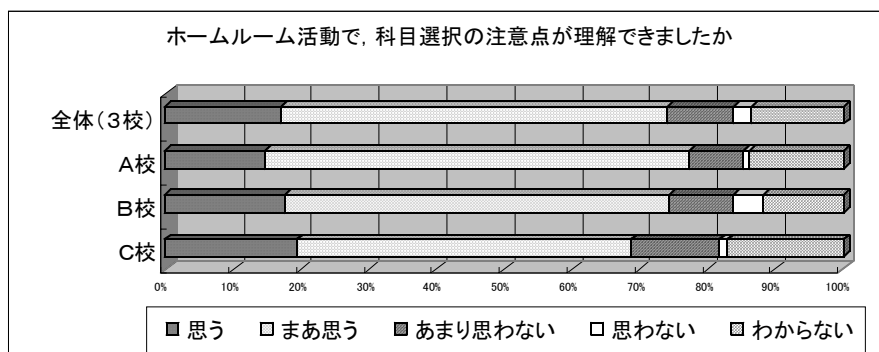
問6 科目ガイダンス

- (1) 集会などによる学年全体へのガイダンスによって、科目選択の意義や手順などが理解できたと思いますか。



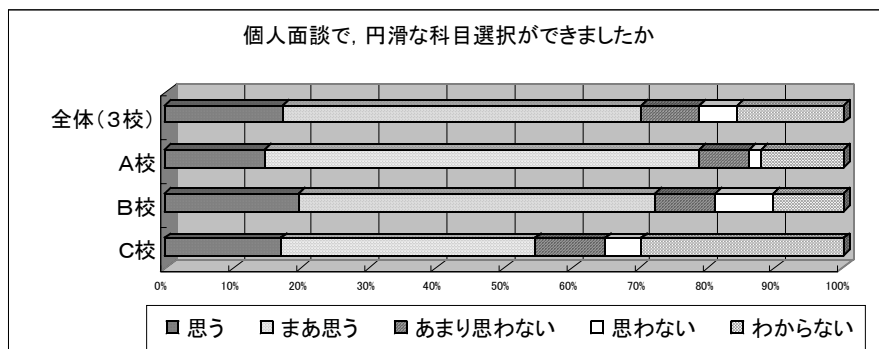
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
 〔全 体〕 70.4 %
 〔A校〕 74.1 %
 〔B校〕 72.7 %
 〔C校〕 61.0 %

- (2) ホームルーム活動などによるクラスでのガイダンスによって、科目選択の注意点などが理解できたと思いますか。



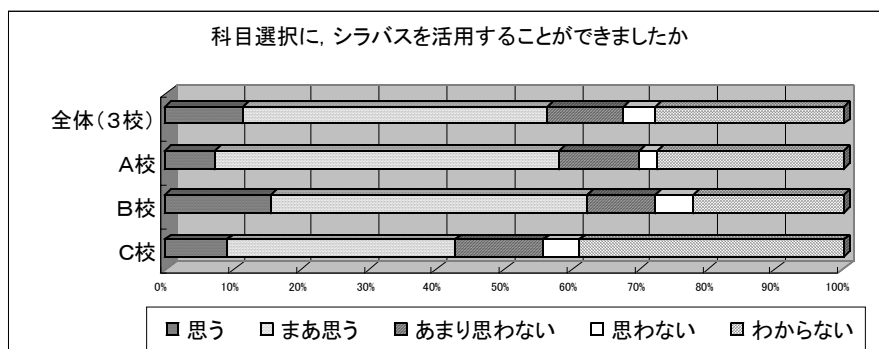
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
 〔全 体〕 74.1 %
 〔A校〕 77.3 %
 〔B校〕 74.5 %
 〔C校〕 68.8 %

- (3) 面談など個人でのガイダンスによって、円滑な科目選択ができたと思いますか。



「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
 〔全 体〕 70.3 %
 〔A校〕 78.9 %
 〔B校〕 72.4 %
 〔C校〕 54.5 %

- (4) 科目選択にシラバス（手引き書）を活用することができたと思いますか。

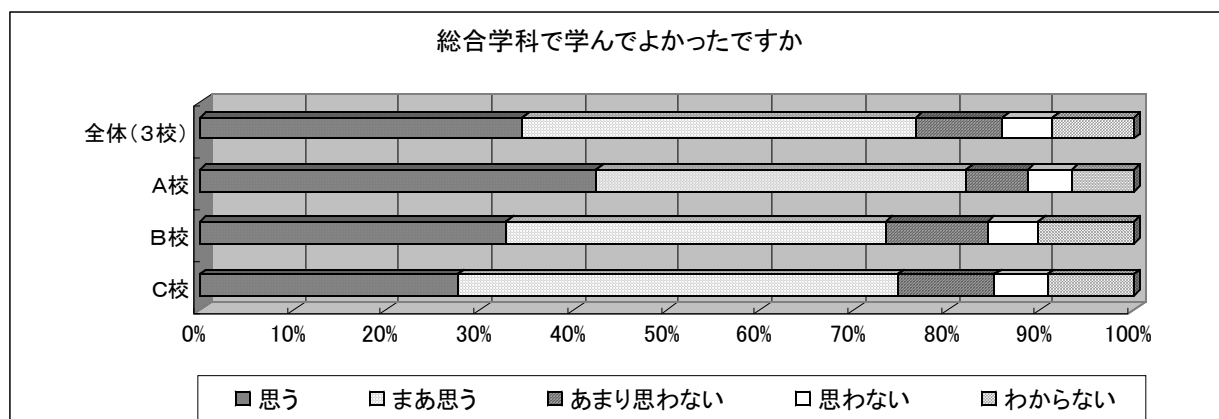


「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
 〔全 体〕 56.4 %
 〔A校〕 58.2 %
 〔B校〕 62.4 %
 〔C校〕 42.9 %

〔高校 3 年次生対象〕

問 7 総合学科について

(1) 3 年間、総合学科で学んで、よかったですか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

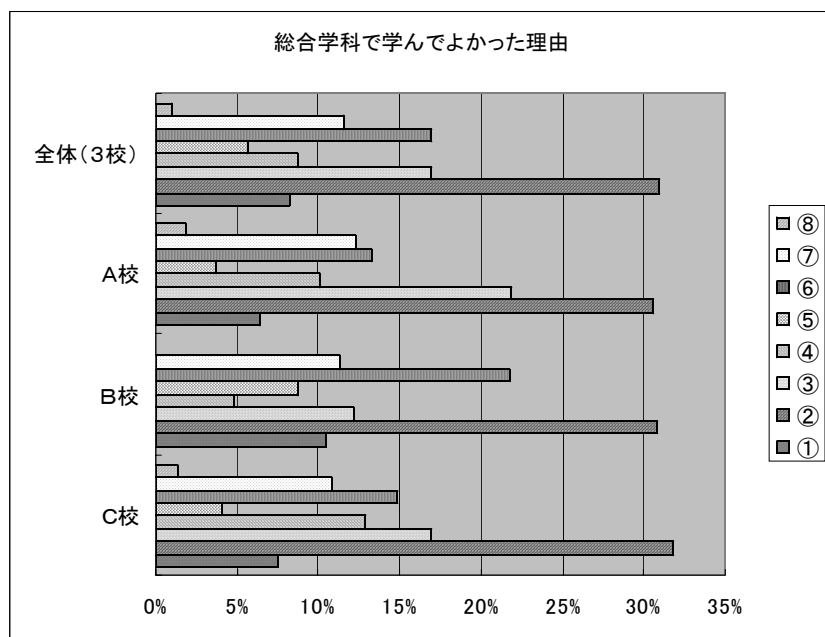
〔全 体〕 76.6 %

〔A 校〕 82.6 %

〔B 校〕 73.4 %

〔C 校〕 74.2 %

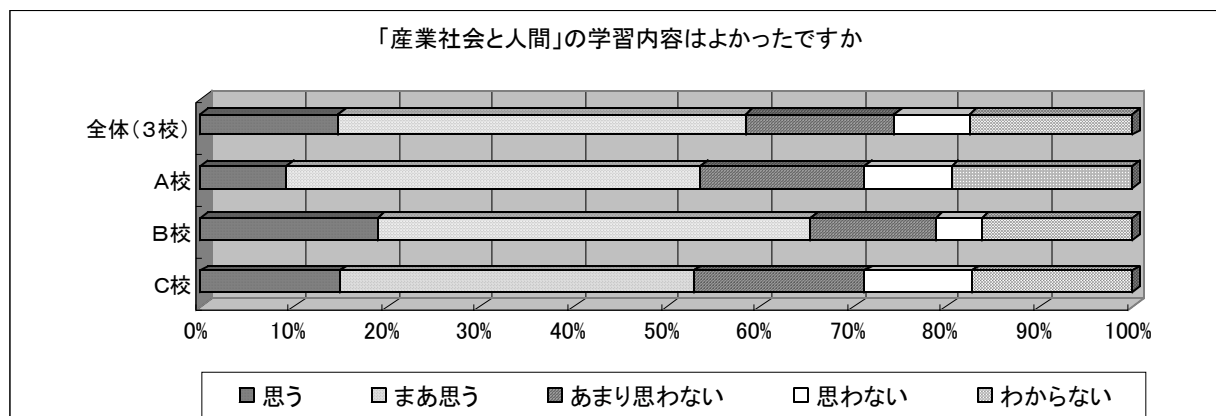
(2) 総合学科で学んでよかった理由を、次の中から選んでください。(複数回答可)



- ① 自己の在り方・生き方について学習することができたから
- ② 自分の興味・関心などに合わせた科目が選択できたから
- ③ 他の学校にない特色ある科目が学習できたから
- ④ 体験的・実践的な学習ができたから
- ⑤ 自分の学力や理解力にあった学習ができたから
- ⑥ 進学にも就職にも対応できるから
- ⑦ 他クラスの生徒と授業を受けるなど、人間関係を広げる機会が増えたから
- ⑧ その他

問8 科目「産業社会と人間」について

(1) 学習内容は、あなたにとってよかったですか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

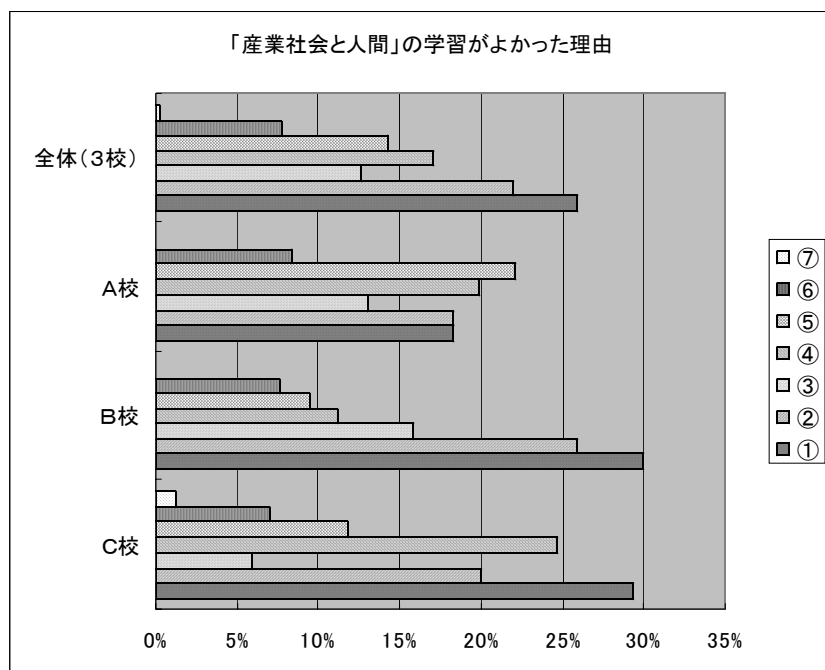
〔全 体〕 58.5 %,

〔A 校〕 53.7 %,

〔B 校〕 65.5 %,

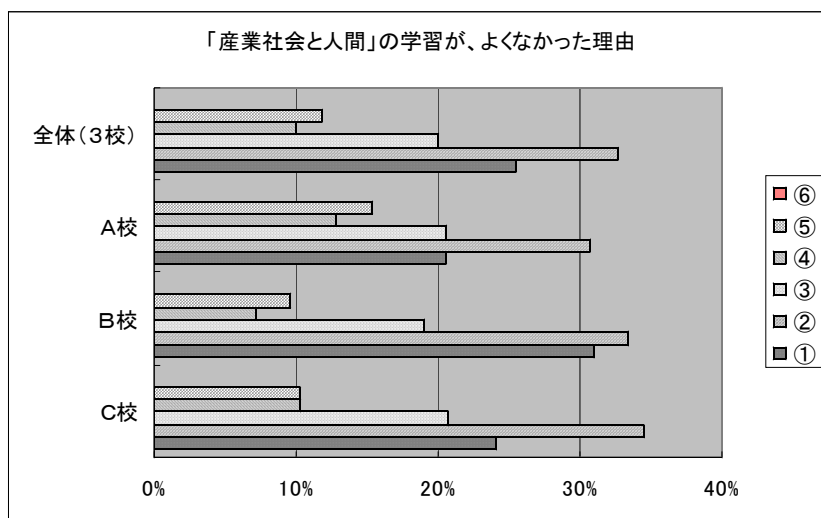
〔C 校〕 52.9 %

(2) よかった理由を、次の中から選んでください。(複数回答可)



- ① 社会人講話などにより自分の知らない職業や産業のことが理解できたから
- ② 自分の適性などについて考えることができたから
- ③ 産業や職業について、時間をとって学習することができたから
- ④ 資格取得も含めて、大学や専門学校について考えることができたから
- ⑤ 上級学校や職場見学または体験学習などを通して、学ぶことや働くことについて理解を深めることができたから
- ⑥ 科目選択について、十分に学習することができたから
- ⑦ その他

(3) よくなかった理由を、次の中から選んでください。(複数回答可)

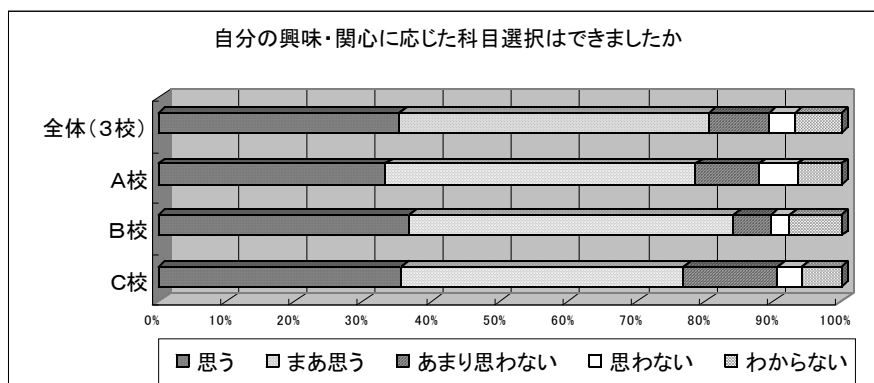


- ① 社会人講話などは、あまり必要を感じなかったから
- ② 自分の適性などについてはよく分からなかったから
- ③ 職業や進学などについてはすでに決めていたから
- ④ 上級学校や職場見学あるいは体験学習などは、余り役に立たなかったから
- ⑤ 科目選択について、よく分からなかったから
- ⑥ その他

[注：データ件数は 100 件]

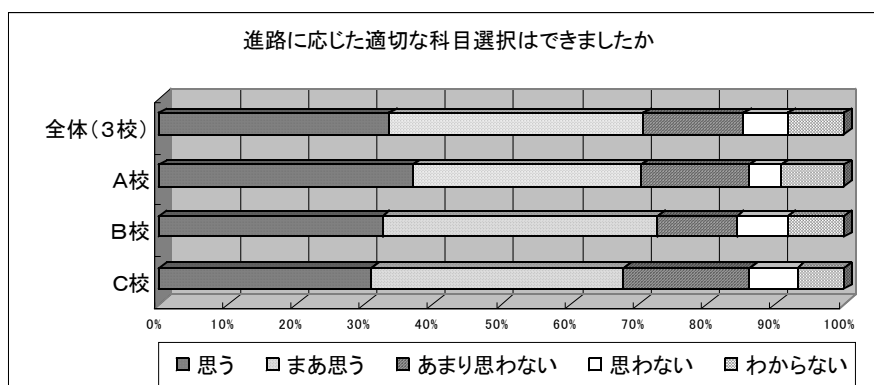
問 9 科目選択について

(1) 自分の興味・関心などに応じて適切に科目を選択することができたと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値
 [全 体] 80.7 %
 [A校] 78.7 %
 [B校] 84.4 %
 [C校] 77.0 %

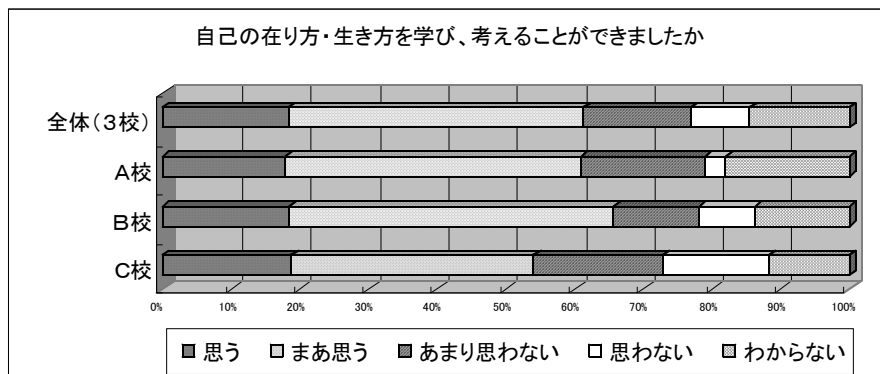
(2) 自分の進路の希望などに応じて適切に科目を選択することができたと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値
 [全 体] 70.8 %
 [A校] 70.4 %
 [B校] 72.8 %
 [C校] 67.8 %

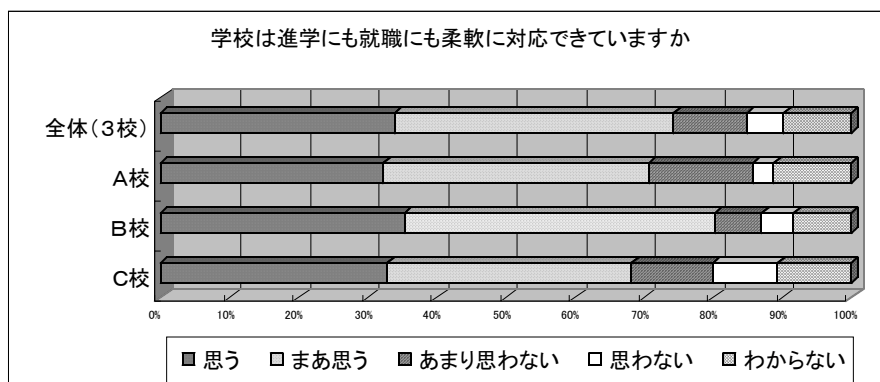
問 1 0 学校について

(1) 自己の在り方・生き方について学び、じっくりと考えることができましたか。



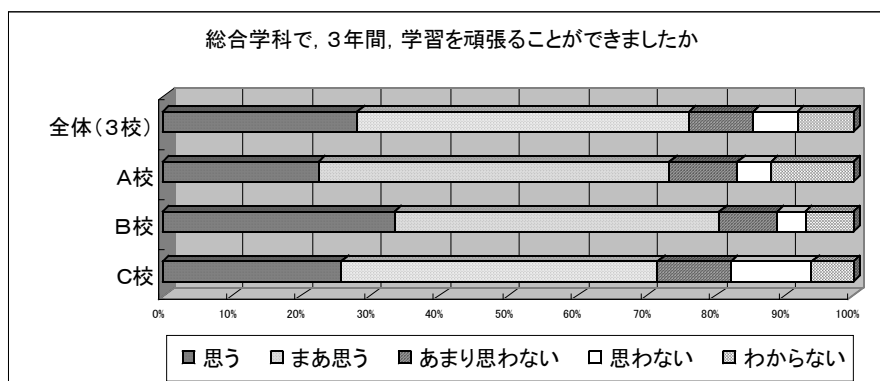
「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 61.3 %
〔A校〕 61.0 %
〔B校〕 65.8 %
〔C校〕 54.1 %

(2) 進学にも就職にも柔軟に対応できていると思いますか。



「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 74.3 %
〔A校〕 70.7 %
〔B校〕 80.3 %
〔C校〕 68.2 %

問 1 1 総合学科での3年間における学習について、頑張ることができましたか。



「思う」と「まあ思う」
を合わせた数値
〔全 体〕 76.3 %
〔A校〕 73.5 %
〔B校〕 80.8 %
〔C校〕 71.8 %

記述式回答の結果(抜粋)

1 総合学科に対する、教員の意見や考え

(1) 制度等全般について

- 生徒が多様化する中、一人一人の個性を生かし主体的に学ぶことができる学科である。
- 多様な科目を開設しており、生徒の興味・関心や進路に応じた教育が展開できている。
- 科目選択の幅が広く、少人数授業も可能である。
- 生徒一人一人が自分に応じた時間割を組めるところが素晴らしい。
- 総合学科に再編後、生徒が行動に責任を持ち、意欲的に活動するようになった。
- 生徒の進路は変化するが、他の学科と違い比較的柔軟に対応できる。
- ニートやフリーターが大きな社会問題となっているが、キャリア教育の視点から見て、総合学科は、この問題の解決に大きな役割を果たすと期待できる。
- 意欲的に学べる生徒には良い制度だが、主体的に取り組むことの出来ない生徒にとっては、効果が少ない。
- 多様化した生徒の興味・関心や進路等に対応するには、系列を増やすことが必要である。
- 総合学科の制度、目的等について、校内での共通認識と共通理解を深め、全教職員が同歩調で進むことが大切である。

(2) 授業や科目選択について

- 授業は「学校設定科目」に代表されるように、自由にカリキュラムを組むことができるので、生徒の希望や意欲に沿った授業が展開できる。
- 好きな科目だけを選択することがないように、科目ガイダンスを充実する必要がある。
- 科目(特に学校設定科目)の精選、カリキュラムやシラバスを充実する必要がある。
- 半期完結の科目を増やし、進路などに迷いや悩みを持つ生徒の科目変更等に柔軟に対応できるようにする。
- 科目「産業社会と人間」は、内容がよく練られており、職業観の育成に役立っている。
- 科目「産業社会と人間」の授業に対する事前準備や検討の時間が充分持てていない。
- 1年次で履修する科目「産業社会と人間」と、2・3年での進路指導に関連性や連続性を持たせることが大切である。

(3) 進路について

- 進学にも就職にも対応できる学科である。
- 1年次という早い段階から、卒業後の進路についてじっくり考えることができる。

(4) 学校関連、地域連携に関すること

- 高大、中高、専門学校との授業交流や、インターンシップなど企業との連携を図ることが大切である。
- 職場実習としてビジネス界での体験を多く取り入れ、働く意味や、働き続けることの意義、必要なコミュニケーション能力を養うことが大切である。
- 地域連携として、保護者や地元の人々に授業を公開し聴講してもらったり、高校生と地域の人々が一緒に学ぶ講座をつくるのもよい。

(5) 広報に関すること

- 第3の学科として期待されスタートした総合学科ではあるが、生徒、保護者、地域社会の認知度や理解度は低い。
- 単位制の概念や総合学科の良さが、社会ではまだまだ認識されていない。

2 総合学科に対する、生徒の意見や考え

<1年次生>

- 自分の考えや個性が尊重された勉強や活動ができ、自分の持つ能力をさらに伸ばすことができる。
- 自分の将来に適した系列を中心に、必要な科目を学ぶことができる。
- 他校に比べ、選択科目が豊富であり、自分の興味のある学習ができる。
- 選択科目を、もう少し増やしてほしい。
- 取りたい授業があっても、バッチングしていて取れないことがある。
- 社会に出れば実技が大切と思うので、実技の授業をもっと増やしてほしい。
- 資格が取れたり、検定にも挑戦できる。
- 進路に応じて自分だけの時間割を作ることができる。
- 進路が決まっていないうちから、時間割を作るのは難しい。
- 自分の進路について早い段階で考えることができ、より早く自分の夢に近づける。
- 進路を決定する時期が1年生というのは早すぎる。
- 科目が多すぎて迷ってしまうので、科目ガイダンス等の説明をもっとわかりやすくしてほしい。
- 科目「産業社会と人間」では、いろいろと職業や将来について調べたり考えたりできる。また、講演会では、いろいろな職業人の話が聞け、職業に対する理解が深まる。

<3年次生>

- 自分の適性や能力に応じた学習ができ、自分の良いところを伸ばすことができる。
- 一人一人の個性を生かし、目標に合った教科・科目をしっかりと勉強することができる。
- 自分の学びたい教科・科目を勉強できるので将来役立つと思う。
- 自分の興味、進路に合わせた時間割が作れる。
- いろいろな資格に挑戦できる。
- 少人数で授業を受けられるので、授業内容が理解しやすい。
- 選択人数の少ない講座でも開講してほしい。
- 科目によっては、習熟度別のクラス編成をしてほしい。
- 科目の選択群に取りたい科目が重なっており、取れなかった。
- 時間割を作る前に、どんな授業かを体験したい。
- 専門性の高い系列を増やしてほしい。
- 他のクラスの人と一緒に授業が受けれるので、友達の幅が広がる。
- 1年次に進路が決まっていなくても、対応できる学校である。
- 3年間の学習で自分がどんな道に進みたいのかが考えられた。
- 科目選択ガイダンスをもっとわかりやすくしてほしい。
- 科目「産業社会と人間」では、社会人講師などいろいろな人の話が聞け、将来の夢を決めるのに参考になった。
- 「産社ノート」には、それぞれの科目についての詳しい内容説明があり、とてもわかりやすかった。
- 大学には総合学科卒の推薦があるので、進学に有利である。